



おじま かずお
尾嶋 一雄 議員 (MIRAI)

地域

地域クラブ活動の運営状況は

答弁…受託者と連携し、確実な運営を行う

問 市は、休日における部活動の地域移行の取組を先進的に進めているが、課題も見えてきている。その一つとして、受益者負担の未収金対策があるが、その改善をどのように考えているか。

答 受益者負担は受託者が集めており、未収金があった場合は、アプリ上で保護者に未納状況を通知し請求している。未収金の中には、登録はあるものの参加の意思確認ができないかたが含まれており、確実な集金につなげるため、より明確な基準を示していく。



医療 学校施設の屋外にAED増設を

答弁…屋外設置について検討していく

問 休日に学校校庭で活動しているスポーツ少年団等の団体の児童・指導者等が、心肺停止の緊急時に校舎のガラスを割らずにAEDを利用できるように、学校施設の屋外に増設することはできないか。

答 現在、校舎内に設置されているAEDの有効活用を図っている。屋外設置については、設置場所の確保、盗難やいたずら等への対策、屋外用収納ボックスの設置に要する費用等の課題を踏まえ、今後、教育委員会とともに検討を行っていく。



課題

ののぐち まゆみ
野々口 真由美 議員 (TSUNAGU)

実証実験の統一的理解を

答弁…庁内連携を強化し実証実験を行っていく

問 藤井市政になり、さまざまな実証実験が行われている。しかし、対象事業の選定方法や実験後の評価の在り方、本格導入の実現性の判断など統一した理解が示されていない。地域課題の解決に向けて成果を生み出すために、統一の方針を決めるべきでは。

答 実証実験の実施に当たり、統一な条件や基準などは、実証実験ごとに規模や期待される成果などが大きく異なるため定めていない。今後は、庁内連携をより一層図り、市民の暮らし向上や地域課題解決を図るための有効な手段として、実証実験を行っていききたい。



賑わい創出事業の実証実験(新白岡駅自由通路でのパシお菓子の販売)

教育 子ども達をいじめから守るために

答弁…いじめ防止に全力で取り組んでいく

問 いじめは、子どもの心身を深く傷つける重大な人権侵害であり、犯罪にも当たる行為である。子どもを育てる家庭・学校・地域、そして私たち大人は、子ども達を守る当事者として行動する必要がある。子ども達を救うために、教育委員会の本気度を見せてほしい。

答 各学校がいじめの未然防止、早期発見と組織的対応の体制をより一層強化していくよう指導していく。併せて、保護者、地域住民及び関係機関との連携を深め、未来を担う子ども達の安全を守り、健やかな成長を支える学校づくりに、全力で取り組んでいく。